

# 教科等横断的な視点を取り入れた授業実践

## 国語科

## 第2学年

### 《教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成》

#### ○ 学習の基盤となる資質・能力の育成について

- ・ 言語能力の育成

本実践では、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な文章構成を考え表現する力の育成を図る。そのためには、事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、集めた事柄の順序に沿いながら、文章の初めから終わりまでを内容のまとまりごとにいくつかに分けて配置していくことを意識することが必要である。本実践では、生活科で行った町探検をもとに、地域の方々に「町の『すてき』」を伝えるという目的をもち、国語科で報告する文章を書いていく。伝えたい「町の『すてき』」を相手に分かってもらうためには、どのような順序で報告する文章を書くのか、構成を考える必要があることに気付かせていく。

#### 1 単元名 まとまりを考えて書こう 「町の『すてき』をつたえます」

#### 2 単元の目標

- ◎ 「はじめ」「中」「おわり」のまとまりを考えて、町探検の報告文を書く。【書くこと】
- 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。 [知識及び技能]
- 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等]
- 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けることができる。 [思考力、判断力、表現力等]
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

#### 3 教科等横断的な視点を取り入れた授業実践について

##### (1) 単元で育てたい力

- 事業所の見学を通して、見たものやお店の方にインタビューをして聞いたこと、体験したことから必要なことを選び、順序を考えながら、読み手に伝えたいことを報告文に書くことができる。【国語：言語能力】

##### (2) 教科等横断的な視点に立った育てたい力

- 身近な人々と関わるよさや楽しさが分かり、地域に親しみや愛着をもち、すすんで触

れ合い、交流したり感謝の気持ちを表したりすることができる。【生活：言語能力】

### (3) 共通の育てたい力

○生活科で身近な人々に関わる活動の中で得た情報を精査して考え、言葉を通じて自分の思いや考えを適切に表現することができる。【共通：言語能力】

### (4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。	①「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 ②「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けようとしている。	①積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして報告する文章を書こうとしている。

## 4 指導計画

時	学 習 活 動 ★教科等横断的な学習活動	備 考 ★教科等横断的な学習 ◎記録に残す評価 □学習状況の確認				
	生活科「えがおのひみつ たんけんたい（町探検）」 ★地域の事業所6か所をグループにわかれ、見学する。					
1	ねらい <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の多様な場所や人々に関わる活動や身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々と自分たちの生活との関わりや公共物のよさや働きを捉えたり、相手ことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだりすることができるようにする。</li> <li>・身近な人々と関わるよさや楽しさが分かり、地域に親しみや愛着をもちすすんで触れ合い交流することや、適切に接したり安全に生活したりすることができるようにする。</li> </ul>	 <p>【木工所でまな板づくり体験】</p>				
2	見学場所 <table border="0"> <tr> <td>公共施設</td> <td>郵便局 公民館</td> </tr> <tr> <td>店・事業所</td> <td>製菓店 旅館 漁港 木工所</td> </tr> </table>	公共施設	郵便局 公民館	店・事業所	製菓店 旅館 漁港 木工所	
公共施設	郵便局 公民館					
店・事業所	製菓店 旅館 漁港 木工所					
3	学習内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前 インタビューの仕方、適切な言葉遣い</li> <li>・当日 仕事の見学 可能なら児童ができることの仕事体験 お客さんへの接し方の観察やお客さんの反応の観察 お店の人へのインタビュー</li> </ul>					

1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1 生活科で探検したことを、報告文に書いて伝え合うことを知り、学習の見通しをもつ。 【見いだす】</p> </div> <p>○どのような文章を書けば、読み手に見学したことが分かりやすく伝えられるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たことやインタビューして聞いたことを書く</li> <li>と、お店に行っていない人にも分かりやすい。</li> <li>・順序を間違えないようにして書けば、読んでいる人によく分かる。</li> </ul> <p>○「学習のすすめ方」を読み、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の例文を読み、自分たちもこのような作文を書くことを知り、誰に伝えるのか、何のために書くのか、見通しをもつ。</li> <li>・別の店や施設に行った友達、店や施設のことをよく知らない家族だけでなく、見学させていだいた事業所の方々に報告文を読んでもらうことを単元のゴールと確認する。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①【行動分析・発言分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町探検の報告文に関心をもっている。</li> </ul>
2 ・ 3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>2 探検して分かったことを、メモに書く。</p> </div> <p>★探検して分かったことを「町たんけんカード」に書く。[生活]</p> <p>★「町たんけんカード」の中から、「◆見つけたこと」「△聞いたこと」「♡思ったこと」などを抜き出して、メモに書く。[国語]</p>	<p>★事業所を見学して、分かったことをカードにまとめている。【言語能力】</p> <p><input type="checkbox"/> 思考・判断・表現</p> <p>①【行動観察・町たんけんカード分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たり聞いたりして分かったことを「町たんけんカード」に書いている。</li> </ul> <p>★「見つけたこと」「聞いたこと」「思ったこと」を、短い言葉で3種類のマークのメモに分けて書いている。【言語能力】</p>
4	<p>○メモに書いたことについてペアで読み合い、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ見学場所のグループの友達と話し合い、更に書き足すとよいことなどをメモに書く。</li> <li>・書く内容や書き方がわからない児童やメモの枚数が6枚に達しない児童は、同じ店を探検した児童からアイデアをもらうようにする。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> 思考・判断・表現</p> <p>①【メモ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学したことの中から、自分が伝えたいと思う「見たこと」や「聞いたこと」を選び出し、メモに表している。</li> </ul>

5 ・ 6	<p><b>3</b>読み手に分かりやすく伝わる報告文を書くために、「はじめ」「中」「おわり」の組み立て表をつくる。【自分で取り組む】</p> <p>○「見学場所を選んだ理由」のメモを書き、「はじめ」の部分に貼る。</p> <p>★時間的順序や場所的順序を意識して、「◆見つけたこと」「△聞いたこと」メモに番号を書き入れ「組み立て表」の「中」に並べ、貼る。[国語]</p> <p>○「おわり」の部分に「♡思ったこと」のメモを貼る。</p>	<p>★探検したことを想起し、時間的順序や場所的順序に気をつけて「見つけたこと」「聞いたこと」「思ったこと」メモを「組み立て表」に貼り、報告文の構成を考えている。</p> <p>【言語能力】</p> <p>□思考・判断・表現</p> <p>①【組み立て表の分析】</p> <p>・「見学場所を選んだ理由」を「はじめ」に、見学した内容を「中」に、「思ったこと」を「おわり」に配置し、「組み立て表」を構成している。</p>
7 ・ 8	<p><b>4</b>組み立て表に沿って、読み手に分かりやすく伝わる報告文を書く。【自分で取り組む】</p> <p>○『大事な言い方』を参考に、理由の書き方や順序が分かりやすくなる書き方、伝聞の文末について知る。</p> <p>★メモの番号順に作文を書く。[国語]</p>	<p>★順序を表す言葉や理由や伝聞の書き方を取り入れ、探検したことを文章に書いている。</p> <p>【言語能力】</p> <p>◎知識・技能</p> <p>①【記述分析】</p> <p>◎思考・判断・表現</p> <p>①【記述分析】</p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①【発言・記述分析】</p>
9	<p>○書いたものを読み返し、手直しする。</p>	<p>◎知識・技能</p> <p>①【行動分析・記述分析】</p>
10	<p><b>5</b>書いた文章を友達と読み合い、よいところを伝え合う。【広げ深める】</p> <p>・「はじめ」「中」「おわり」のまとまりを考えて書いてあるかに着目して読む。</p>	<p>◎思考・判断・表現</p> <p>②【相互評価カードの記述分析】</p> <p>◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①【相互評価カード・行動観察】</p>

- ・ 友達の作品を読み、よいところや真似したい上手なところなどを相互評価カードに記述し、交換する。
- ・ お家の方にも読んでもらい、感想をもらう。

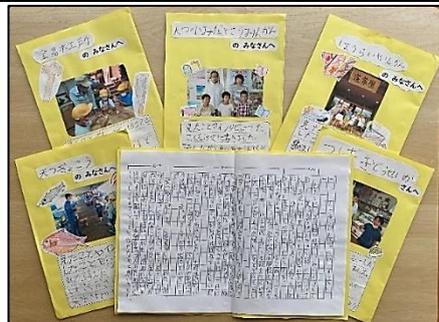


【友達の作文を読んで、相互評価カード「いいね！カード」を書く】

**【お家の方からの感想】**

木工所のがくわしく書いてあって、よくわかりました。生きている木だからこそ、いろいろなものに生まれ変わらせて、みんなが大切につかう。木工所の人ではなくてはならない、ステキな人達だと思いました。

《課外》お世話になったお店の方に「町探検作文」を届け、感謝の気持ちを表す。また、報告文を読んだ感想を動画や手紙で伝えていただく。



**【事業所の方からの手紙】**

今回は、町探検で〇〇漁港をえらんでくれて、ありがとうございます。みなさんが書いた作文を読みました。とてもよく勉強していて、うれしくなりました。これからも、たくさん魚を食べて、もっと好きになって下さい。  
〇〇漁協組合

先日は町探検の感想を頂きありがとうございました。お子様達の素直な意見・感想にととてもうれしく思いました。お父様、お母様、先生方の温かいお心のもとで日々学んでいるのだと思います。私も天津で生まれ育ちました。豊かな自然と町の温かい方々に囲まれて幸せです。皆さんも天津のよいところを見つけて、いつまでもふるさとを大切にしてくださいね。  
〇〇旅館

1 1

**6 単元全体を振り返り、学んだことをまとめる**  
**【まとめあげる】**

- ・ 各事業所の方々からいただいた感想カードを読んだり動画を視聴したりする。
- ・ 「はじめ」「中」「おわり」の三つのまとまりに気をつけて文章を書く、見学をして新たに知ったことや読み手に伝えたいことを文章で表現するという学習のねらいに対する自分の学びを振り返る。
- ・ 自分が伸びたところや努力したこと、友達のよ

◎主体的に学習に取り組む態度

①【発言・振り返りカード】

<p>いところ、今後に向けてさらに頑張りたいことなどについて記述し、話し合う。</p> <p><b>【事業所の方から届いた感想カードや動画を視聴した児童の感想】</b></p>	
<p><b>【木工所を探検した児童】</b></p> <p>おへんじをありがとうございます。木工じよでおしえてもらったことは、あたまの中に入れておきます。ずっとおうえんしています。</p>	<p><b>【旅館を探検した児童】</b></p> <p>「ふるさとをだいじにしてください」というところを読んだとき、すごくあたたかい気持ちになりました。</p>

## 5 実践

### (1) 目指す児童の姿

#### ・学習の基盤となる資質・能力の育成について

#### ア 言語能力の育成①（第6時） 組み立て表づくり

(ア) 児童を見取る際の主なポイント

- ①教科書の「組み立て表」を参考にして、「店を選んだ理由」を「はじめ」に、見学した内容を「中」に、「思ったこと」を「おわり」に配置し、構成している。
- ②時間的順序や場所的順序を意識し、「◆見つけたこと」「△聞いたこと」メモに番号を書き入れ、「組み立て表」の「中」に配置している。

(イ) 指導と評価の実際

#### ①第6時の授業の概要

「◆見つけたこと」「△聞いたこと」が「町たんけんカード」にたくさんある児童には、特に自分が報告文に書きたい事柄に絞って優先順位をつけてからメモに起こすようにし、各自合計6枚程度のメモを書かせておいた。本時は時間的順序や場所的順序を意識させ、持っている「◆見つけたこと」「△聞いたこと」のメモを「組み立て表」の「中」に並べ、貼る学習を行った。報告文を書くにあたり、重要な1時間であると捉えている。

「組み立て表」の「中」の構成を考える際、場所的順序を明確にする手立てとして、見学した階が複数ある場合は「中」を上下数段に分けさせた。例えば、2階は上方に、1階は下方に配置するよう伝え、確認しながら貼らせた。また、ずっと同じ店内で見学を終えた児童については、時間的順序がわかるように、上方右から左に向かって順に①から貼らせるようにした。ほとんどの児童はこの手順で完成させたが、中には支援が必要な児童も見られた。

#### ②実際の児童の姿

##### ○「おおむね満足できる」状況と評価した例

多少メモの順序に前後は見られるが、概ね時間的順序や場所的順序を意識してメモを配置している児童は「おおむね満足できる」状況と評価した。

##### ○「十分満足できる」状況と評価した例

時間的順序や場所的順序を意識して、「見つけたこと」「聞いたこと」メモを正しく配置している児童については、「十分満足できる」状況と評価した。

○「努力を要する」状況と評価した例

時間軸が前後している、場所を混同している、自力でメモの配置ができない児童については「努力を要する」状況と評価した。そこで、貼り付ける前に、指導者や同じ場所に行った別の児童と一緒に再度話を聞くことで、見学内容のすり合わせを行い、一つ一つ確認しながら進めていった。

見学内容のすり合わせが終わったら、見学した階や部屋ごとにメモを分けさせた。初めに行った部屋、次に行った部屋…と分け、その後、各部屋で見たものやお店の人から聞いたことを右から左に順に机上に並べるよう助言した。そして、全てのメモに通し番号を順につけた後、「組み立て表」に番号順に貼らせ、完成させた。

## イ 言語能力の育成②（第8時） 作文を書く

### （ア）児童を見取る際の主なポイント

- ①教科書の参考作品をもとに、「組み立て表」に即して、「はじめ」「中」「終わり」の構成の報告文を自力で書いている。
- ②「～だそうです。」「～ということです。」等の伝聞の言い方を知り、インタビューしたことやお店の人から聞いたことと、自分が見たこと、思ったことを区別した書き方で表している。
- ③主語述語が対応している。
- ④時間的順序を表している「はじめに」「つぎに」「さいごに」が入っている。
- ⑤長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方が正しくできている。

### （イ）指導と評価の実際

#### ①第8時の授業の概要

前時に「はじめ」の部分の「店を選んだ理由」まで記述を済ませていたので、本時は、「中」の部分の「組み立て表」のメモの番号順に記述をしていくことを抑えた。

その際、メモに書いてある短文だけでは文章量として足りないことや、読み手に見学の様子を伝えるには不十分ではないかと児童に投げかけた。すると、児童から、「もう少し詳しく書かなくてはいけない。」という意見や、既習の順序を表す言葉である「『はじめに』『つぎに』『さいごに』の言葉を書くと順序が分かる。」という意見が出された。そこで、拡大教材文を黒板に貼り、組み立て表のメモと比較させたり、順序を表す言葉を○で囲ませたりする活動を導入で行い、全体で確認してから各自の記述にとりかかった。

また、大事なポイントとして、伝聞の言い方である「～だそうです。」「～ということでした。」という表現方法にもふれ、自分の作文に取り入れるようにした。

#### ②実際の児童の姿

- 「おおむね満足できる」状況と評価した例

文章量として、教材文と同等の400文字程度自力で書くことができている点、「中」の部分において、「はじめに」「つぎに」「さいごに」という時間的順序を表す言葉を使って記述できている、伝聞の言い方を用い、「聞いたこと」を記述している児童については、「おおむね満足できる」状況と評価した。

○「十分満足できる」状況と評価した例

「はじめに」「つぎに」「さいごに」という時間的順序を表す言葉を使って記述できている点、「見つけたこと」や「聞いたこと」を主述に気をつけて、読み手に分かりやすく、正確に記述している点、伝聞の言い方を用い、「聞いたこと」を記述している点、文章量として、500文字程度を自力で書いている点、さらに、見学を終えて「思ったこと」を具体的な理由を挙げて自分の感想を記述していると判断し、「十分満足できる」状況と評価した。

○「努力を要する」状況と評価した例

日常的に文章表現を苦手としている児童が見られる。本児については、教材文の「はじめ」の部分と一緒に音読し、本児が訪問した見学場所の名称や「その店を選んだ理由」に代えて音読させてから文章化させた。また、「中」の部分で自力で記述した文を読み返し、主述の関係を見直し、適切な文になるように修正をさせた。自力で記述した文章量が200文字以下である児童については、そこが何をするための部屋なのか、何をするための道具なのか、その目的やものの数、色、大きさを詳しく答えさせ、記述につなげるようにした。

## (2) 実践を終えて

### 1 学習の基盤となる資質・能力の育成について

国語科の学びにおいて、言葉により情報を正しく伝える力が求められている。今回、生活科の学習として事業所を見学し、自分の目で見たこと、耳で聞いたこと、実際に仕事の一端を体験して肌で感じた苦労など、貴重な体験をすることができた。その体験を、国語科の学習として言葉を通じて他者に伝えるという本単元の学習は、児童にとって、今後学んでいくうえで重要な土台の一つとなったのではないかと思う。

また、他者とコミュニケーションをとる方法の一つとしてインタビューしたことや、友達の作文を読むことを通してよい表現方法に気付くことなど、他者とつながり、自らを向上させることができたことも実りとなった。

単元の終末、事業所の方々に児童の書いた町探検の報告文を届けた。読んだ感想を事業所の方々から動画やメッセージカードでいただいたことで、伝えたいことが相手に伝わったという実感をもつことができたことも、大きな収穫であった。

見学した事業所は違えども、それぞれの店や施設で働く方々の真摯な仕事ぶりから見えるお客様に対する気持ちを、友達の書いた作文を読むことで知り、単元の終末に学級全体で多面的・多角的に振り返ることで、児童の人間性の育成にもつながると感じた。

## 2 教科等横断的な視点に立った評価について

生活科における事業所の見学という活動を通して、「町の『すてき』」を読み手に伝えるために、見たことや聞いたこと、体験したことの中から必要な事柄を選び、「はじめ」「中」「おわり」の構成や順序を考えて報告文に書くことができているならば、国語科としてのねらいは到達しているのではないかと、私は考える。

また、自分の地域に住む町の人々がどんな思いをもって地域に関わろうとしているのか、つまり「町の『すてき』とは何か」を児童自身がつかみ、「自分の住む町にはこんなにいい人たちがいるんだな。」「自分の住む町っていい町だな。」などのように、地域に対する親しみや愛着をもつことができているならば、生活科としてのねらいは達成していると捉えている。さらに、「これからも自分のふるさと『天津小湊』を大切にしていきたい。」という思いや願いをもつことは、児童の人間性を育む上でも大きな価値があると考えられる。

今回、生活科での町探検で得た各自の気づきを「自分が見学したお店のことを友達や家族に伝えたい。お店の方にも作文を読んでもらいたい。」という児童の願いから、報告文という形式で表現する活動を行った。町探検という実体験を題材にしたことで、「書きたい」という意欲化を図ることができたと共に、児童は自分の伝えたいことや思いを表現しやすかったことも大きな要素となったと考えられる。報告文を「書く」という手段をとることで、情報を精査し、正しく、そして分かりやすく伝えるために、構成に気をつけて順序よく書かなくてはならないという学びに向かう姿勢が児童に生まれた。生活科での学びをもとに、誰のために、何のために書くのか、相手意識と目的意識をもって取り組むことによって、国語科における資質・能力の一つである「言葉を通じて自分の思いや考えを適切に表現する力」を育むことに役立てることができたと考えられる。

また、報告文として表現することは、自らが発信者となって、他者へ向けたコミュニケーションの一つの手段となったのではないかと考える。今後も他教科での学びを国語科で生かし、児童の表現活動につなげていきたい。